

人と動物が共生する心豊かな最幸のまち かわさきを目指して



少子高齢化、世帯人数の減少に伴い、川崎市においても犬や猫などの動物を家族の一員として飼う家庭が多く、これらの動物は、様々な形で潤いと喜びを与えてくれる存在として、飼い主にとってかけがえのないものとなっている一方で、動物に係る様々な問題も発生しております。

このような社会情勢の中、本市では、動物愛護ボランティアなど多様な主体と連携・協働し、いのちを「まなぶ」、「つなぐ」、「まもる」をキーワードに取り組みを進め、動物を通じていのちの大切さを伝えることで、「かわさきの人と動物の未来」である「人と動物が共生する心豊かな最幸のまちかわさき」の実現に向けて「ひと・どうぶつ ^{みらい} MIRAI プロジェクト」を始動します。

いのちを「まなぶ」取り組みといたしましては、動物を通じて子供たちにいのちの大切さや他者への思いやり等を伝え、共感するところや豊かなところの涵養を目指します。

また、市民の方々へ効果的な広報を実施するためエンジン01文化戦略会議動物愛護委員会とのコラボレーションを行うなど多様な主体と連携した取り組みを実施してまいります。

いのちを「つなぐ」取り組みといたしましては、動物の殺処分削減に向け、公益社団法人川崎市獣医師会や動物愛護ボランティア等に御協力いただき、負傷動物への治療強化や譲渡会の定期開催、迷子動物減少への取り組みを強化してまいります。

いのちを「まもる」取り組みといたしましては、動物の防災対策として、飼い主の方々が災害時に適切な対応ができるよう、平常時から動物のしつけや健康管理、必要な物品の備蓄や動物との同行避難訓練など、飼い主の方々への啓発を実施してまいります。

これらの取り組みを積極的に進め、人と動物が共生する心豊かな最幸のまちかわさきにむけ、動物愛護施策を、一歩前に、もっと先に進めてまいります。

川崎市長 福田 紀彦

